

令和5年度在北米被爆者健康相談等事業の実施について

1 要旨・目的

在外被爆者の健康保持及び増進を図るため、在外被爆者健康相談等事業を北米で実施する。

2 現状・背景

本県が国から受託し、一般社団法人広島県医師会等の協力を得て、南米・北米で実施している。

※ 令和2年度、3年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止。令和4年度は、派遣を希望した南米、北米（ロサンゼルス、バンクーバー）で実施。

3 概要

(1) 対象者

在北米被爆者

(2) 事業内容

ア 実施内容

- ・現地医療機関での事前健康診断
- ・日本から派遣された医師による健康相談
- ・行政職員による行政相談
- ・今後の事業実施に関する協議 等

イ 実施都市

ホノルル、サンフランシスコ、シアトル

ウ 派遣団

医師 3名	団長 <small>まつむら まこと</small> 松村 誠	広島県医師会会長 医療法人松村循環器・外科医院理事長
	<small>ひらかわ はるお</small> 平川 治男	広島県医師会常任理事 広島赤十字・原爆病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科部長
	<small>みょうが ひろし</small> 茗荷 浩志	広島県医師会常任理事 医療法人和同会五日市幸楽苑 施設長
行政職員 4名	広島県:被爆者支援課長他2名, 広島市:1名	

(3) 訪問期間

令和5年10月10日（火）～10月20日（金）

(4) 予算（国庫）

39,169千円

4 その他（関連情報等）

ホノルルでの健康相談等事業に併せて、現地で実際に被爆者に接する医師等を対象とした「被爆者医療研修会」を実施する。（放射線被曝者医療国際推進協議会（HICARE）主催）

【講師】

- ・かみや けんじ 神谷 研二 HICARE 会長, 放射線影響研究所理事長
- ・松村 誠 広島県医師会会長【再掲】